



A I S E N K A I
Nichinan Hospital
～ since 2002 ～

<https://aisenkai-nichinan.jp>



社会福祉法人愛泉会日南病院

〒887-0013 宮崎県日南市風田3649-2 (国道220号沿い)

TEL : 0987-23-3131 (代表)

E-mail : kanri@aisenkai-nichinan.jp

公式facebookページ : <https://www.facebook.com/aisenkainichinan/>

※本誌に記載されているデータ等は、特に表記のない限り2021年(令和3年)4月現在のものです。



**NO DREAM,
NO LIFE.**



人生にナビはない。
だから夢が必要なんだ。
"心に響く看護"を通じて
看護師としての夢を
追い求めよう。

社会福祉法人 愛泉会

愛泉会日南病院
Aisenkai Nichinan Hospital

看護職員リクルートガイド

患者さんの”よろこび”と”生きがい”が高まる医療を目指して 人と人との「心」をつなぐ医療・看護

当院では患者さんの疾患だけでなく”心”も理解しながら、基本方針・看護理念に基づき、患者さんにとって最適な医療ケアをご提供できるよう努めています。そのために看護師としての能力を最大限に引き出し、また看護師としてのキャリアを中長期的に見据え、一人ひとりの可能性を広げていくことが大切であると考えます。



診療科

- ・内科
- ・整形外科
- ・小児発達外来

病床数

- 184床
- ・重心病棟126床
- ・一般病棟58床

スタッフ数

- 210名
- ・常勤医師6名
- ・看護師105名
- 他

看護体制

- ・重心病棟 10:1
- ・一般病棟 15:1

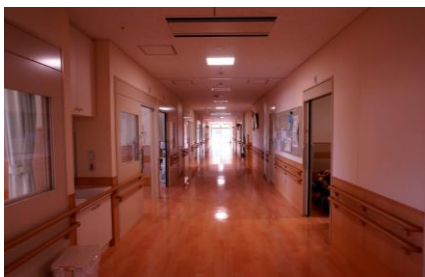
職員平均年齢

- 40.0歳
- ・20代→22%
- ・30代→18%
- ・40代→29%

年間休日数

- 124日
- ・夏季休暇
- ・誕生日休暇
- ・有給平均7.9日

当院は重症心身障害（重心）医療分野における宮崎県の基幹病院に、また血液内科分野、小児発達障害医療分野については日南串間医療圏で唯一の医療機関に位置付けられています。希少な医療分野において地域の皆様の健やかな生活を維持できるよう日々努めています。



－ 当院医療福祉サービスの3つのポイント －

point 1 - 個別性の高い看護 -



当院重症心身障がい病棟の患者さんは、その人生の大半を当院内で過ごされます。そんな方々に様々な生きがいを提供いただき、その人生を少しでも輝いたものにできるよう、お一人おひとりの心に寄り添いながら長期的にしっかりと向き合えるよう日々努めています。また最初は難しいコミュニケーションも患者さんの小さなサインをキャッチしながら、その関わりに深い喜びを感じるようになります。

point 2 - 抜群のチームワーク -



当院に見学に来られた方がよく口にされるのが「こんなに雰囲気の良い病棟はなかなかない」というコメントです。当院は患者さんの事をいつも気に掛ける温かいスタッフばかりですので、もしスタッフに仕事やプライベートで悩みや不安な事があった時は、年齢や職種を超えて、あらゆるスタッフが親身になって相談に応じてくれます。お互いが支え合う、この雰囲気が抜群のチームワークに繋がっています。

point 3 - 地域一体の取り組み -



当院では地域の高校生や大学生、Jリーグチーム等、地域のあらゆる分野の方々と連携しながら、患者さんのQOL向上につなげる、より質の高いサービスを追求するために様々なプロジェクトを長年にわたり展開しており、近年では全国にも輪が広がっています。また地域の子どもの医療福祉を中心としたキャリア教育にも力を入れるなど、街づくりや人材育成も視野に入れた、地域医療の新たな未来の姿を常に模索しています。

看護部長 山中 ゆかり

Director of Nurses.
Yukari Yamanaka

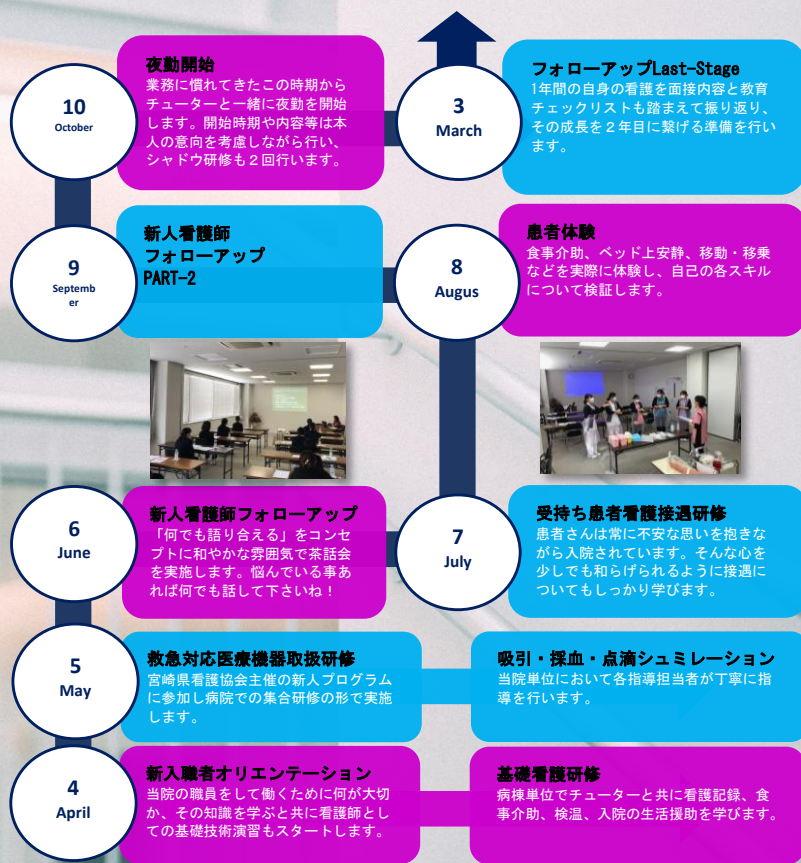


患者さんだけでなく、スタッフも安心できる環境を目指して

当院は、一般内科と重症心身障がい児者病棟があります。初めての入職と重症心身障がい児者という専門性の高い病棟に勤務されるには不安も大きいと思います。新たな人生の第一歩を精いっぱい応援させていただきたいと考え、新人看護師の集合研修や社会人基礎力、クリニカルラダーを導入しています。また、メンタル面でのフォローとして定期的な面接も実施していますので安心して勤務していただけると幸いです。

十人十色で看護師の才能を引き出す「新人看護師教育システム」

看護師人生の中で最初の職場という事で、新人の方々はきっと様々な不安をお持ちであらうかと思います。また転職される方も同様かと思いますが。そんな皆様に安心して業務に従事いただけるよう、当院では新入職員一人ひとりの個性をしっかりと見極め不安の軽減を図りながら業務にスムーズに慣れて頂くためのサポートを丁寧に行っていきます。



－ 当院新人サポートシステムの3つのポイント －

point 1

チューターシップ tutorship

新人としての不安な日々を少しずつ解消し配属部署に慣れるよう、当院では新人指導計画のもと、5年目以内の看護師がチューターとして、一人ひとりの個性をしっかりと見極めながら看護師としての基礎的なスキルを丁寧に指導していきます。どんな時でも見守り、相談相手になってくれる、いわばお姉さん、お兄さんの存在です。



point 2

サポーターシップ supportership

他の職場から転職される看護師の方々には御自身のキャリアが通用するか不安な方もいらっしゃるかと思います。そんな方々が、スムーズに現場に溶け込めるよう、当院では、ガイド・ケア・コーチング・ティーチングの各手法で、皆様が働きやすいよう、即戦力としてパワーを発揮できるようサポートします。



point 3

茶話会 sawakai

入職後、配属部署で相談相手ができても、なお不安や疑問が残る事があると思います。そんな思いを新人同士で共有し、病院としてもその思いを汲み取る事ができるよう、当院では新人と看護師が集まってカフェスタイルで気軽に話ができる「茶話会」を開催しています。お菓子を食べながら、毎回和やかな雰囲気様々な意見が集まってきます

TALK ROOM 01

－ 当院でのルーキーイヤーを振り返って －

－ コミュニケーションを通じた喜び －



3病棟
長渡 円香 看護師
Ns. Madoka Nagato
(2020年新卒入職)

重症心身障がい病棟の配属でしたので最初は患者さんとのコミュニケーションがとれるか不安でしたが、様々な工夫をしながら患者さんの笑顔を引き出す事ができた時に心から喜びを感じました。またスタッフ全員とても仲が良く、困った時はいつも優しく指導していただき、さらに地域の方々も一緒に楽しみながら患者さんのために仕事ができる事が当院の魅力だと思います。

－ 憧れの病院に就職できた喜び －



2病棟
蓑部 奈々美 看護師
Ns. Nanami Minobe
(2020年新卒入職)

私が看護師として最初の職場に当院を選んだ理由は家族がかつて入院していた際にスタッフの皆様にとってもよく対応していただいたからです。実際に入職してからも、先輩スタッフの方々に丁寧に優しく指導していただき、患者さんやそのご家族の皆様も含め温かな素晴らしい雰囲気の中で仕事できていて本当にやりがいを感じれる職場です。

－ ライフワークバランスのとれた職場 －



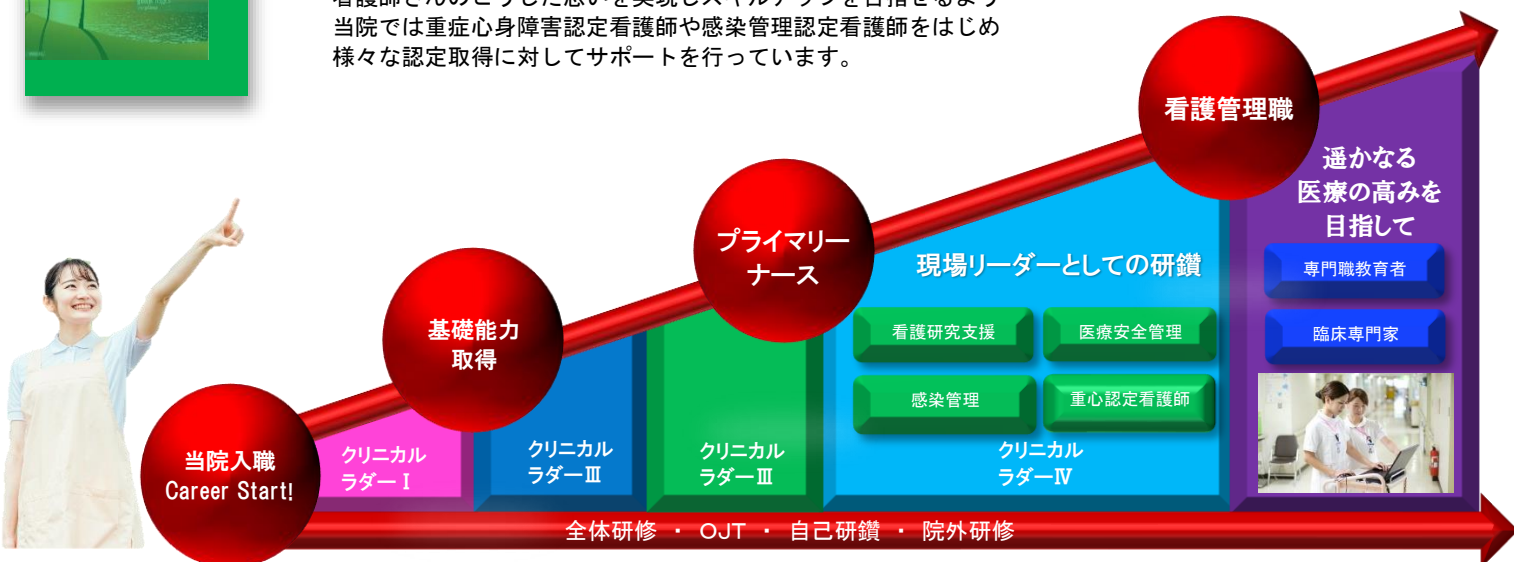
3病棟
宮下 由佳 看護師
Ns. Yuka Miyashita
(2021年中途入職)

京都出身の私が当院を選んだ理由は、趣味であるサーフィンと看護師の仕事を両立させたかったからです。当地に日本有数のサーフスポットがある事に加えて、病院の方でサーフルームも整備していただき、まさにライフワークバランスのとれた毎日を過ごしています。また入職後も丁寧に指導していただき、職場にもすぐに慣れる事ができました。

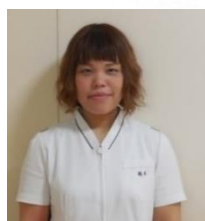
キャリア支援 Career Support

看護のスペシャリストとして自分らしく成長し自立できるように

「これまでのキャリアをベースにさらにレベルの高い仕事に携わりたい！」
看護師さんのこうした思いを実現しスキルアップを目指せるよう
当院では重症心身障害認定看護師や感染管理認定看護師をはじめ
様々な認定取得に対してサポートを行っています。



TALK ROOM 02 - 患者さんの確かな安心のために目指したキャリアアップの道 -



協会認定重症心身障害看護師
萩本 藍
Ns. Ai Hagimoto

入職当初は、日々のケアに対する不安も多く、患者さんともコミュニケーションを図ることが難しく感じましたが先輩看護師の良ところが真似し患者さんの気持ちに応えられるよう努力しました。その中で重症心身障害看護により魅力を感じ、さらに専門的な知識や技術を学びたいと考え認定看護師資格を取得しました。この資格を活かし利用者様が安心・安全に生活が送れるようこれからも精進していきます。分からない事がある際は100%の笑顔でお答えします！！



感染管理認定看護師
佐々木 由香
Ns. Yuka Sasaki

当院ICT（感染制御チーム）で発足当初から所属する中で、幅広い感染管理の知識と実践力を学びたいと思い感染管理認定看護師を目指しました。院内での感染症発生時の早期対応に備え、院内外の感染症発生状況の監視、職員への感染教育、職員からの相談対応を通じて、患者さんだけでなく職員も感染症から守る環境づくりに努めていきたいと思っています。今後も自己研鑽に励み、全ての人を感染から守れるような感染管理活動を行ってまいります。

看護研究 Nursing Research

全国の重症心身障がい児者の希望の光になりたい

重症心身障がい医療はまだまだ発展途上の領域で、専門医療機関も全国で数少ないのが現状です。私達が研究活動を行い、質の高い看護を追求していく事で当院患者様だけでなく全国の重症心身障がい児者の方々とそこに携わる医療関係者の方々の希望の光になればと考えています。

point 1

院内研究発表会を通じて情報共有



point 2

全国規模の大会における研究発表



- 当院看護研究の2つのポイント -

当院重症心身障がい病棟の患者さんに多い疾患・症状や医療管理に迅速に対応できるスペシャリスト育成のため、複数の研究チームを設けて先進的な看護研究を目指し、スタッフが病棟間を超えて日々研究を行っています。また図書室や文献検索システムなど、研究に必要な環境も整えています。さらに研究内容は院内研究発表会で報告し、優れたものに関しては全国規模の大会においても発表を行います。



多職種連携

Multidisciplinary
collaboration

スタッフ同士の支え合いが安らぎと信頼を深めます

当院では重症心身障がい病棟（重心病棟）を中心に医師・看護師・介護福祉士・リハビリセラピスト・保育士等、合わせて最大21職種のスタッフが各々の専門性を最大限に活かして連携をとりながら最上の医療福祉サービスを提供できるよう務めています。また連携を通じた情報共有を積極的に行う事で各々の職種だけでは得られない知識を取得でき、それが個々の研鑽へと繋がります。業務中に何か困った時は遠慮なく頼ってみてください。きっとあなたを親身になって支えてくれます。

TALK ROOM 03- 重心病棟を共に支え合うために -



介護福祉士： 疋田 幸誠

Certified Care Worker Kousei Hikita

人と人とのふれあいから役に立てる魅力的な仕事であると感じ、介護福祉士の道に進みました。仕事で楽しいところは患者さんとのふれあいの中で笑顔を見られる事です。また当院の良いところは素晴らしいスタッフに恵まれ、様々な職種が連携して患者さんの生活を支えている事です。困った事があれば遠慮なく相談してください。



病棟保育士： 片山 明日香

Hospital nursery teacher Asuka Katayama

病棟保育士は重症心身障がいの患者さんの成長と生きがいに繋がるための療育活動やイベントの運営を行う仕事です。ご自身での表現が難しい方達ですので活動の中で利用者さまの笑顔が見れた時が一番の喜びです。そんな活動も病棟スタッフの協力無くしては実現できないので、病棟スタッフ全員には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

院内イベント

地域活動

Various Activities

患者さん、スタッフ同士、地域の方々とのふれあいを大切に

普段外出が難しい重症心身障がい病棟（重心病棟）の患者さんに多くの生きがいを見つけていただけるよう、当院では1年を通じて地域の方々のご支援のもと数多くのイベントを実施しています。またキャリア教育などの地域での様々な事業に積極的に参加する事で地域の方々とのふれあいにも力を入れています。

春の音楽会



当院3大イベントの1つです。毎年4月に開催されます。学生さんをはじめ地域の方々の音楽グループにおいていただき季節を感じる様々な曲を演奏していただき、春の訪れを感じる心温まる時間を過ごしていただきます。

Jリーグとの交流



サッカー「Jリーグ「テゲバジャーロ宮崎」の選手の皆様」に当院にお越しいただき、重心病棟の患者さんにスポーツ交流を通じて運動する事の喜びを感じていただく活動を10年前から実施しています。あのスター選手に会えるチャンスがあるかも？！

JR九州や地元学生の皆様のご協力のもと、JR日南線にて特別ダイヤの貸切列車の中をハロウィン一色に染めて様々なイベントを行いながら運行します。今後も毎年様々な方面に向けて車内を華やかに彩りながら運行していく計画です。

貸切列車の旅



地元の高校生の皆様とタッグを組み、重心病棟の患者さんの生きがいの向上につながる様々なプロジェクトを検討し実行していくプログラムです。地域の次代を担う学生さんに医療福祉の大切さを学んでいただく事を目的に毎年実施しています。

医療福祉プロジェクト



グッジョブフェスタ



毎年11月に開催される小学校高学年向けのキャリア教育イベントです。私達の仕事を多くの方に知っていただき、未来の看護師を一人でも多く発掘したいとの思いから毎年参加しています。スタッフも初心に帰った気持ちで楽しんでいます。

つわぶきハーブマラソ



毎年11月に開催される市内最大の運動イベントです。運動好きな方を中心に、毎年多くのスタッフが参加し汗を流しています。このイベント以外にも7月の弁甲競漕大会にも抜群のチームワークで参加しています。

福利厚生

Benefit

ワークライフバランスを第一に考え自分らしく生き生きと

看護師としての責任を果たすに当たっては、プライベートの充実も必要不可欠な要素であると私達は考えています。休日にはしっかり休んで、またその時間を使って様々な場所やイベントに赴き、多くの事を吸収する事で、リフレッシュに加えて、みなさんお1人おひとりの人生の輝きにもつながっていきます。

充実の休暇制度



当院看護職員の公休日数は123日！その他、誕生日休暇、夏季休暇等、様々な休暇制度を設けていますので、人生の様々なライフステージに合わせて充実した日々をお過ごしいただけます。

院内保育所



子育てをしながらでも安心して働き続けられるよう24時間・365日体制の職員専用院内保育所を完備しています。四季折々の行事も充実しており皆様の大切なお子様をしっかりとお預かりします。

報奨制度



その年に業務において最も活躍されたスタッフの努力に報いたいとの思いから当院では「宝告賞」「ハインリッヒ賞」等、様々な分野での功績に対して賞を設定しています。

様々なニーズに対応



時代の流れの中で福利厚生に求めるものは変わってきます。そんな様々なニーズにお応えできる内容を目指して、当院ではスタッフが参加する検討会議を実施し、様々な制度が誕生しています。

日南市について Nichinan City



まもなく宮崎日南間高速道路開通！さらに快適に！

当院が立地する日南市は、宮崎市の南隣に位置する人口5万人の街です。令和4年度には通行料無料の高速道路が宮崎市まで繋がる予定で、開通後は宮崎市内まで約35分（現行70分）で到達できる事から、宮崎市内からの通勤時間が大幅に短縮されるだけでなく、県庁所在地が生活圏の一部となり、大変便利になります。また下記の3つのポイントを中心に、日南は数多くの魅力が溢れており、当院スタッフにも移住者が多数在籍しております。

TALK ROOM 04

－ 移住者が語る日南の魅力 －

事務部長 西島 元利
(東京都より移住)

移住する前は生活の事など様々な不安がありましたが、いざ生活してみると、買い物で不自由する事もなく、温かな人達に囲まれて安心して子育てもでき、とても快適です。特に帰宅途中の太平洋の夕暮れと夜の煌めく満天の星空は、いつも私の心を癒してくれる、日南ならではの魅力です。

看護師 福田 悦乃
(埼玉県より移住)

私の趣味は「サーフィン」。この趣味と仕事の両立を目指してたどり着いたのが日南市です。特に当院は職場の裏側がサーフポイント、職場の雰囲気もアットホームで、私としては最高の環境です。加えてスーパーなどお店も近隣に多数あり、お買い物も便利なのが魅力です。



point 1

- 意外と？！暮らしに困らない街 -



都会から離れた街だと買い物に不便があるイメージがありますが、日南市内には24時間営業の「TRIAL」をはじめ、ユニクロやヤマダ電機、HOMESIDEなどの大手量販店が数多くあり、日常生活で困る事はほぼありません。また中心市街地活性化事業で若い方々が雑貨店やカフェも出店しています。

point 2

- 自然の癒しに溢れた街 -



日南市は太平洋と山々に囲まれた街です。海沿いには日本有数のサーフィンスポットや海水浴場、絶景スポットがあり、山間部には猪野八重溪谷や坂元棚田など緑豊かなスポットが季節毎に様々な癒しを与えてくれます。また、広大な公園も多数あり、特に子育て世代には充実した環境です。

point 3

- 渋滞＆人混みが無い街 -



日南市の人口は約5万人。よって、普段、車で道路が渋滞する事がほぼありません。また各種施設や飲食店に入る際にも待たされる事がほとんどありません。渋滞や人混みにストレスを感じる事なく過ごせる点は、宮崎市などの都会の生活には無い魅力の1つです。